

# 萬歳楽山



半田山から見える萬歳楽山全景

## の魅力

萬歳楽山は、福島・宮城県境にその山頂を有し、標高915mで見晴台からは360度のパノラマが楽しめます。蔵王連峰や吾妻・安達太良の峰々が間近に見え、晴れた日には太平洋や朝日連峰も望むことができます。

また、初夏の草花や秋の紅葉も素晴らしく、特に山頂付近には大木のサラサドウダンツツジが多数あり、例年6月初旬に一斉に開花する様子は見ごたえがあります。

地震のとき、少し前までお年寄りの方は「マンゼラク・マンゼラク」という呪文が唱えられていました。この「マンゼイラク」という呪文は萬歳楽山が発祥の地であり、東北地方、関東地方、北陸地方の辺りまで広がっていました。この萬歳楽山が「元気がもらえる山」として評判となっています。ぜひ、登ってみてください。そして、その魅力を感じてください。

国見インターから萬歳楽山登山口までは、国見町林道赤坂線～林道北口線を通って行く順路と、県道の小坂峠から小畑林道を通って行く順路があります。(林道北口線で行くほうが大部分が舗装となっております。)

〔登山コースタイム〕  
 北口林道登山口→(10分) 茂庭分岐点→(25分) 萬歳楽山山頂(第2見晴台)→(10分) 第1見晴台→(20分) 大日如来岩→(20分) 小畑林道登山口→(10分) 小畑林道終点→(10分) 林道分岐→(15分) 北口林道登山口

◀山頂付近には、2基の見晴台があり、360度展望でき安達太良・吾妻・栗子・朝日・蔵王の山々が眺望できます。  
 ▼第1見晴台からは摺上ダムが見下ろせます。



▲小畑林道登山口から中腹地点に大日如来岩があり、この岩からも「元気」がもらえるとされています。  
 ◀小畑林道登山口の手前に冷たい湧水があります。

▼山頂近くに大きなモミの木があります。登山者の中には大モミの木から「元気」をもらおうと触ったり、痛いところを押しついたりしています。



▲北口林道と小畑林道の交差するところが三叉路となっています。

※写真は、6月27日に開催された「こさかまちづくり探訪会」に同行して撮影した写真です。(記事は13ページに掲載)



## 登山案内図



豊富な草花も  
お楽しみください！

萬歳楽山は年間を通じ、ツツジやヤマボウシ、シヨウジョウバカマなどさまざまな花が、登山者を楽しませてくれます。秋には紅葉が大変きれいです。

山ツツジ



サラサドウダン



## 「萬歳楽山の会」村上健一会長にインタビューしました

Q、「萬歳楽山の会」が発足したきっかけは？

A、役場職員を中心とした登山同好会があり、地元の山にちなんで「萬歳楽山の会」と名づけました。所有者である北山組合をはじめ多くの方々の理解とご協力をいただき萬歳楽山に関する活動を始めました。

Q、萬歳楽山の魅力は？

A、6月初旬のサラサドウダンに魅せられて、ルート開設や見晴台の設置等を進めてきました。眺望の素晴らしさや容易に登れて奥深さを感じられ、心が癒される空間です。



萬歳楽山の会の皆さん(中央右側が佐藤町長、右端が村上市長)

また、茂庭との地理的つながりや萬歳楽山に係わる多くの物語を聞き、昔を想うと心が躍ります。

Q、登山される方々へ一言

A、萬歳楽山は、古くから先人が利用管理してきた里山です。時代と共に山林の利用目的は変化してきました。より多くの皆様がいつまでも楽しめる山域であって欲しいと思います。